

## 521金属材料を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	9 ～ 10	加工材である重量9kgの鉄筋を3本（計27kg）を持ち機械に乗せる際、腰に負荷がかかり、ひねってしまい痛みで立てなくなり負傷した。	60	19	11209	100 ～ 299 人
2	2018	1	9 ～ 10	朝礼終了後、14階バルコニーにて塗装作業中、部屋を通過して廊下に出る際、放置してあったくぎ抜き前の解体機を踏んだことにより、左足裏を被災した。	46	9	30201	10～ 29人
3	2018	1	17 ～ 18	工場内柱組み立て架台の上で作業中に、H甲100×100の材料の上に足をかけたときに滑って隙間250mmの中に（柱（製品）と組み立て架台との隙間）足が挟まり、自分自身の体重が掛かり骨折した。	34	7	11209	—
4	2018	1	12 ～ 13	工場2階で製品の加工中（治具に製品を4ヶずつはめ込みフライスで加工する）、加工後、硬くて容易に製品が治具から取れないものがあったため、まずフライス加工機の電源を切った。本人はフライス刃物の回転が停止したと思い、製品を取り出そうと左手を伸ばしたところ、刃物の回転は完全静止しておらず、また刃物の位置と治具の位置が近すぎたころもあり、刃物で左薬指の先が伸び、中指と手の平も負傷した。	59	11	80209	100 ～ 299 人
5	2018	1	11 ～ 12	トラックで荷卸し作業中に、誤って左手中指と薬指を挟み裂傷を負った。左手薬指の爪が剥離する。	51	19	30110	10～ 29人

6	2018	1	12 ～ 13	会社敷地内で作業中、ホイールローダーより降車しようとした際、転倒し、右脇腹を床面に打ち付け受傷した。	47	4	150102	30～ 49人
7	2018	2	16 ～ 17	工場内で、鋼材の上に乗る鋼材を結束している番線を切ろうとしたときバランスを崩し、飛び降り、着地した際に、右足首をひねった。	50	3	11209	10～ 29人
8	2018	2	17 ～ 18	工場内で台に載せてあったスチール板15枚のうち1枚を2名で取り出す作業中、移し替える手間を省いて一気に取り出そうとしたため、台が傾き重量をささえきれずに横転して、板を支えていた本人の膝下からくるぶしまでが板の下敷きになり負傷した。	22	4	80109	10～ 29人
9	2018	2	7 ～ 8	材料の乗り換え作業中、散と材料の間に右手人差し指の先端を挟んだ。	37	7	11209	50～ 99人
10	2018	2	13 ～ 14	材料を移動させるため、材料を少し持ち上げようと右手を材料の下に入れようとした際、材料を支えていた左手が誤って滑り、地面と鋼材に右手中指が挟まれた。	54	4	11209	10～ 29人
11	2018	2	18 ～ 19	パイプをトラック荷台から降ろしていたところ、パイプが手から滑り、咄嗟に左足で受けようとしたが、斜めにカットされたパイプの端が左足腿に触れて裂傷を負った。	24	8	11209	10～ 29人
12	2018	2	13 ～ 14	解体作業中、落ちていた釘に気付かず踏んでしまい、右足裏に刺さった。	20	9	30201	50～ 99人
13	2018	2	14 ～ 15	2段に積み重ねてある鋼板製の資材にお尻が接触した際に、資材がバランスを崩して左足の踵に滑り落ちてきて負傷した。	58	4	11209	1～9 人
			8	工場現場でスチールドアを建込み施工する際、開口部に有った鉄板（0.8mm）を移動する必要が発生したため、二人で数枚ずつ両手				

14	2018	3	9	で押さえながら移動していた。10枚程度移動して上部を両手で押していたが、鉄板が薄く湾曲しながら手から離れ足にもたれ掛かってきた。その重量で体のバランスを崩して倒れかけた瞬間に鉄板と床との間に左足首を挟まれた。	32	5	30201	1～9 人
15	2018	3	14 ～ 15	工場内にて、モーター部品の鋳物加工中、両手でひしゃくに入れた湯（約1200℃で溶解した銑鉄）を型枠にそそごうとした際、ひしゃく内の湯が波立ち、ひしゃくからこぼれ右足くつの中に入り、右足小指及び右足の裏側を火傷した。	44	11	11002	1～9 人
16	2018	3	9 ～ 10	資源回収作業中のゴミ集積セクションで、回収後にドライバーがスチール製のゴミ箱のフタを閉めようとしたところ、助手が振り返ってしまったため、ちょうどスチール製のフタの角が左まぶた付近に当たり、打撲と裂傷を負った。	67	6	150103	50～ 99人
17	2018	3	11 ～ 12	炊飯釜を洗う際、積み重なっている釜を取ろうとしたら、転倒防止のスデをし忘れていたため、釜がバランスをくずし倒れてしまい両足の甲の所に当たってしまった。	68	4	10109	30～ 49人
18	2018	3	14 ～ 15	工場にて、鋼板の出荷作業中、手作業で鋼板を1枚ずつ積み重ねていたところ、誤って落としてしまい、両足の膝下内側を打撲、切傷を負った。	56	4	11209	10～ 29人
19	2018	3	16 ～ 17	当社製品（装置）の組み立て現場であった顧客のヤードにて、装置写真の撮影作業中、H形鋼の架台をまたいで乗り越えようとした際に、右足が架台と接触して架台が倒れ、架台と地面に左足の足首付近が挟まれた。	37	7	11301	10～ 29人
20	2018	4	10 ～ 11	土場片付け作業中、鉄くずを搬送しようとした際、不注意で左手親指付け根部分が鉄くずの尖った箇所に触れたまま、左手を動かしたことによって擦ってしまい、擦過傷になり全治2箇月の負傷をした。なお、作業時は軍手と革手2枚履きで作業をしていた。	21	8	30199	1～9 人
			9	原反移動レールで作業後、徒歩にて移動したときに、床上のアン				100 ～

21	2018	4	～ 10	カーボルトにつまずき、左手をレールの上についた際、左手小指を負傷した。	62	2	10602	299 人
22	2018	4	～ 15	工場の中で積み荷をするとき、吊る材料の所に別な品物があったため、その品物を自分の手で動かしたところ、別な品物に当たりその品物が崩れて右足首に当たった。	42	6	11209	—
23	2018	4	～ 12	2t平ボディトラックの荷台へ5.5m（20kgほど）の鉄パイプを積み込んでいた際、先に積んであった同様のパイプが転がり、安全靴を履いていたが、左足甲の上に落下し、打撲し負傷した。	43	4	40301	30～ 49人
24	2018	4	～ 18	2号機のスクラップ缶の場所で発生した。加工が終了し、素材のEND部（幅1200mm、長さ5000mm、厚み0.3mm）を、スクラップ缶（高さ1230mm、幅1500mm）に入れる作業をしていた。5000mmのEND部を半分に折り、更に半分に折って、スクラップ缶に入れるが入れるときにスクラップがバラけて落ちてきた。足下に落ちてきたのを気付かずに再度スクラップ缶に入れようとしたため、スクラップで右脚を負傷した。	24	8	11209	10～ 29人
25	2018	4	～ 17	鉄板（3m×10m）に手を添えて降ろしていたところ、雨で手袋が濡れていたために手が滑り、鉄板のバリが右手小指の付け根から薬指にかけて刺さり負傷した。	64	8	50202	10～ 29人
26	2018	4	～ 15	工場内にて材料（重量約8kgの鋼材）6個をクレーンにて運搬中に、最後の1個をクレーンで運ばず、作業員自身で材料を運び作業台の上へ材料を下す際に、材料が軍手に引っ掛かり材料を放り投げられるような状態になり、作業台と材料の間に左手人差し指を挟んでしまった。	75	7	11209	10～ 29人
27	2018	5	～ 15	工場内でH型鋼の素地調整（サビ落とし）をしていたところ、H型鋼下部の台木のかかり代が十分でなかったため、バランスを崩しH型鋼が倒れた。背後にH型鋼が積んであったことから逃げ場を失い、H型鋼に腰を挟まれ負傷した。	45	5	11209	1～9 人





44	2018	7	10 ～ 11	資材置き場で足場部材を片付けているとき、右手にハンマーを持ち足場の柵を解体しようとして叩いたところ、誤って右手小指を強打した。	16	3	30209	10～ 29人
45	2018	7	14 ～ 15	河川で点検用ステップ撤去作業中、10キロのステップを切断し、20cmの高さから手で支えきれず、左足の指に落下し骨折した。	42	4	30199	1～9 人
46	2018	7	8 ～ 9	トラックから材料を荷下ろししていたところ、平板が滑って左手に当たり、人差し指を負傷した。	41	6	30209	1～9 人
47	2018	7	8 ～ 9	工場内にて、パイプの塗装補助作業中、パイプを受けているローラが不安定だったため、パイプがずれ落ちパイプと床で指を挟んだ。	55	4	11209	10～ 29人
48	2018	7	14 ～ 15	工場内でステンレスの品物を反転させようとした際、誤って品物と木の台の間で左人差し指を負傷した。	27	7	11301	10～ 29人
49	2018	7	15 ～ 16	工場内で作業場へ移動中、床にあった角材に躓いて転倒し、左膝を床で強打して負傷した。	54	2	11209	10～ 29人
50	2018	8	14 ～ 15	鉄板の打ち抜き加工作業をしていたときに、製品を取り外して鋭利になっていた箇所に、右手親指付け根が刺さってしまい、負傷した。	22	8	11203	30～ 49人
51	2018	8	16 ～ 17	組み立て用の鉄筋部材を手で持って運搬中に、床に置いてあった製品に鉄筋を引っ掛けて転倒した。	51	2	11209	—
52	2018	8	23 ～ 24	台車に254φのビレットの積み付け作業をしていたとき、1段目を積み、ボールでビレットとビレットの間隔を空けようとしたとき、ボールが外れ体勢を崩したため飛び降りたが、安全帯のワイ	49	3	11101	10～ 29人

				ヤーにブレーキがかかり右足が先に地面に着き負傷した。				
53	2018	8	17 ～ 18	4tトラックから荷降ろしの際に、廃材のトタンを拾おうとしたところ、トタンから古い釘が出ていたのに気付かず右足で踏んだものである。	42	9	30109	1～9 人
54	2018	8	13 ～ 14	手すり上棧にクランプを付け替え後、取り付けたクランプ上の単管を反対側のクランプ部に乗せようとしたところ、持っていた箇所と反対側の単管端部がクランプから外れ落ち、単管の片側が会所内に落下して、作業確認のためパイプの上に座っていた被災者の左手中指第一関節付近に当たり受傷した。	28	4	30102	10～ 29人
55	2018	8	16 ～ 17	機械加工後のカエリ&バリ取り作業中に、製品の鋭利な角に中指第一関節辺りを強く当て、負傷した。	52	8	11301	10～ 29人
56	2018	8	10 ～ 11	改装作業中、外花売場の単管屋根什器作成の際、骨組みを仮止めし支えていたところ、上部に取り付けていた1m単管パイプが外れ、右手人差し指に当たり負傷した。	23	5	80201	1～9 人
57	2018	9	10 ～ 11	掘削作業中、隣接する工事現場の足場の上から番線の塊が落ちてきて、後頭部から首のあたりに当たった。	32	4	30106	1～9 人
58	2018	9	3 ～ 4	自動車部品の加工中、機械から出る廃材（切り子）を取り除こうとした際、右手の指の間に切り子を挟んでしまい、保護手袋を貫通して指を切った。	51	8	11502	100 ～ 299 人
59	2018	9	8 ～ 9	プレス工場にて、鋼材の移動作業をしようとしたとき、材料置き場で円形状に巻いてあるものが置場外に仮置きされており、その材料が転倒して右足甲部を直撃した。	46	5	11203	50～ 99人
60	2018	9	13 ～	作業場で電源ユニットにねじを打っていたとき、よく切れるシャーシを扱った際に、左手中指を負傷した。	75	8	11409	1～9 人





69	2018	9	15 ～ 16	スクラップのステンレスパイプを、L字型の一端を高さ70cmの台に乗せ、クレーンで吊り上げアーク溶断作業中、切断されたステンレスパイプが台の上から安全靴上に転がり落ちて負傷した。	64	4	11101	10～ 29人
70	2018	9	16 ～ 17	2人で鋼材の出荷作業にて積込作業中、残り3束の出荷材を順番にトレーラー荷台に運搬していた際、出荷材が転がり始めて被災者に落下した。	45	4	11209	—
71	2018	9	13 ～ 14	工場内でシャーリング作業中、加工材料の鋼板（4.5mm×1230mm×1220mm）を引っ張った際、アームの角と鋼板で左手小指を挟んで骨折した。	49	7	11009	10～ 29人
72	2018	9	16 ～ 17	工場内で、鉄板（10kg）を材料台から切断機へ移動させるとき、肩の力が抜けて手から鉄板が落ち、右足に落ちて負傷した。	60	4	11203	10～ 29人
73	2018	9	9 ～ 10	車両の整備中、キングピンを外すためハンマーでたたいたとき、金属片が飛んで首に刺さった。	40	4	11701	1～9 人
74	2018	9	8 ～ 9	工場内にて、クレーンで奥にあるH鋼を持ち上げたところ、手前にあった別のH鋼にぶつかってしまい、手前のH鋼が転倒した際に、その下敷きになって左大腿骨を折った。	64	6	11209	10～ 29人
75	2018	9	13 ～ 14	工場1階作業場にて山積みの鉄板を手作業で台車に移動中、手を離すのが遅く、鉄板と鉄板の間に左手薬指を挟んで骨折した。	64	7	11301	10～ 29人
76	2018	9	11 ～ 12	土場で物置を組み立てていた際、足場の上に物置の壁が置いてありそれを取ろうとしたとき、その壁が右足先に崩れてきて足の親指と付け根を負傷した。	41	5	30202	1～9 人
77	2018	9	17 ～ 18	工場内作業場で、約3～4mの高さに積み上げた製品（鉄鋼材）の仕分け作業終了直後、鋼材を載せた架台（高さ60cm）が曲がって荷崩れが起き、近くにいたため鋼材が体の上に落ちてきて負傷し	17	4	30201	1～9 人



85	2018	10	17 ～ 18	たこ焼き用鉄板の清掃中、鉄板が倒れて右足親指が下敷きになった。	18	4	80209	50～ 99人
86	2018	10	13 ～ 14	旋網線の機関室内を移動中、ホースバンド金具の鋭利な部分に足を引っ掛けて転倒し、左膝に裂傷を負った。	33	8	11301	30～ 49人
87	2018	11	9 ～ 10	金型工場内で組み込み作業中、金型を手前に倒す際、1名がネジ穴に六角レンチを差し込み、被災者が補助として金型を支えた。その際に六角レンチが外れ、金型が勢いよく手前に倒れ、被災者の左手が作業台と金型の間に挟まり、左手人差し指と中指を負傷した。	43	7	11402	100 ～ 299 人
88	2018	11	22 ～ 23	コンサート終演後、被災者が、公演時に取り外していた建物の外にあるポールとチェーンを元の位置に取り付けていた。その際、約2m離れた物販テントで、他スタッフがコの字型ポールを倒したところ、ポールが被災者の首の後ろに当たった。	20	6	170209	50～ 99人
89	2018	11	9 ～ 10	工場内で金型ばらし作業の準備中、金型を所定の位置に下ろしたとき、金型が土台の突起物に当たり止まったため、固定されたと勘違いして作業を開始した。その際、金型が突起物から外れて落ち、左手中指・薬指・小指を金型と土台の間に挟まれた。	42	7	11209	10～ 29人
90	2018	11	9 ～ 10	鋼材（80kg）を切断するため、作業員3人で台に置いてゆっくり移動させ、切断機にセッティングしていたとき、鋼材と機械の間に右手を挟んだ。	50	7	170101	1000 人以上
91	2018	11	15 ～ 16	工場内で、鋼球を研磨するための鉄の盤を、作業台上で溶接していた。溶接後に盤を引き上げたところ、盤と作業台の間に挟んでいた鉄の角材が落下し、左足を骨折した。	61	5	11502	30～ 49人
92	2018	11	11 ～ 12	別の作業員2名が天井の配管作業を行っていた際、その下で被災者が材料を運搬していたところ、床に転がっていたボルトにつまずいて転倒し、左大腿部を骨折した。	45	2	30301	1～9 人

93	2018	11	9 ～ 10	部品庫で自動車部品を仕分けしていたとき、置いてあった自動車部品につまずき、部品の上に転倒して足を切った。	58	2	80202	50～ 99人
94	2018	12	9 ～ 10	当社工場内で仕事納めのため、清掃中に厚手のゴム手袋を着用し、切り屑を引っ張り出したところ、右手親指の第一関節と第二関節の中間の内側を深く切った。	64	8	11301	1～9 人
95	2018	12	13 ～ 14	集荷先の工場で、パレットに載っている鉄商品をトラック荷台に積み込み、商品を固定するためラッシングベルトで荷締めした際、荷崩れが起きた。荷物が足の上に落ち、左足を骨折した。	64	4	40301	50～ 99人
96	2018	12	14 ～ 15	作業場にて、プレス機で鋳物を粉碎中、プレス機の先端に鋳物が食い込んだ。プレス機と鋳物を引き離すため、プレス機を上昇させ、鋳物の下に置いていた鉄の金具を取ろうと手を入れたところ、プレス機の先端に食い込んでいた鋳物が落下した。鋳物と鉄の金具との間に手が挟まれ、左手人差指を不全断裂した。	64	7	11709	1～9 人
97	2018	12	16 ～ 17	中3階にある水の保管庫から、スクリュー（保管庫の床部分より約70cm下を通過）を使って1階に氷を移動させているときに、スクリュー部分に人が落ちないように取り付けている鉄柵の上に乗った際、鉄柵（若しくは鉄鋼を止めている金具）が外れてしまい、スクリュー部分に落ちてしまった。その際にスクリューで左足踵部分に裂傷を負った。	64	1	10101	50～ 99人
98	2018	12	9 ～ 10	鉄骨工事で、セーフティブロックのワイヤーの長さを2人で測っている際に、作業相手の手からフックが離れてしまい、ブロック側を持っていた本人の手に当たり、左手を負傷した。	64	6	30201	1～9 人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。